



平成25年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年3月26日

上場取引所 東

上場会社名 日本オラクル株式会社

コード番号 4716 URL <http://www.oracle.com/jp/corporate/investor-relations/index.html>

代表者 (役職名) 代表執行役 社長 最高経営責任者 (氏名) 遠藤 隆雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役 副社長 最高財務責任者 (氏名) 野坂 茂

TEL 03-6834-6666

四半期報告書提出予定日 平成25年4月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年5月期第3四半期の業績(平成24年6月1日～平成25年2月28日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年5月期第3四半期	110,751	8.3	30,860	8.6	30,969	8.8	19,061	14.6
24年5月期第3四半期	102,221	8.4	28,417	8.4	28,459	8.1	16,632	7.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年5月期第3四半期	149.98	149.93
24年5月期第3四半期	130.87	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年5月期第3四半期	110,344	70,010	62.6	543.25
24年5月期	111,493	60,438	53.4	468.20

(参考) 自己資本 25年5月期第3四半期 69,043百万円 24年5月期 59,504百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年5月期	—	0.00	—	75.00	75.00
25年5月期	—	0.00	—	—	—
25年5月期(予想)	—	—	—	87.00	87.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年5月期の業績予想(平成24年6月1日～平成25年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	164,400	15.0	44,600	10.3	44,700	10.4	27,500	16.0	216.38

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年5月期3Q	127,097,471 株	24年5月期	127,097,471 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

25年5月期3Q	5,485 株	24年5月期	5,085 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年5月期3Q	127,092,171 株	24年5月期3Q	127,092,424 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビューは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において当社が入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P5「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期財務諸表	7
(1) 四半期貸借対照表	7
(2) 四半期損益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) 追加情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

① 業績の概要

当第3四半期累計期間（自 平成24年6月1日 至 平成25年2月28日。以下、「当四半期」）の売上高は110,751百万円（前年同期比8.3%増）、営業利益は30,860百万円（前年同期比8.6%増）、経常利益は30,969百万円（前年同期比8.8%増）、四半期純利益は19,061百万円（前年同期比14.6%増）と、第3四半期累計期間としては売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益とも過去最高となりました。

当四半期における日本国内の経済環境は、前半は一部に弱い動きが見られたものの、輸出環境の改善や復興需要等を背景とした企業活動の持ち直しに伴うIT投資も徐々に増加してきております。平成24年10月には、オラクル・コーポレーション主催のITカンファレンス「Oracle OpenWorld」が米国サンフランシスコで開催され、様々な新製品やサービスが発表されました。当社は、これら新製品やサービスを順次日本国内のお客様に提供すべく準備を進めてまいりました。

② 報告セグメント別の状況

【新規ライセンスおよびクラウド・ソフトウェア・サブスクリプション（注）】

売上高は31,777百万円（前年同期比13.8%増）となりました。

当セグメントは企業等のIT基盤に利用される、データベース管理ソフトウェア、各種ミドルウェア、ERP等の業務アプリケーションソフトウェアの新規ライセンスを販売する「新規ライセンス」と、特定のソフトウェアやソフトウェア実行基盤をクラウド・コンピューティング環境でサービス利用型として提供する「クラウド・ソフトウェア・サブスクリプション」から構成されます。新規ライセンスの売上高は29,816百万円（前年同期比8.5%増）、クラウド・ソフトウェア・サブスクリプションの売上高は1,960百万円（前年同期比334.6%増）となりました。

新規ライセンスではデータベース、ミドルウェアを中心に、クラウドやビッグデータの利活用環境、事業拡大や経営環境の変化に迅速に対応できるIT環境の構築等、お客様の事業活動を支えるIT基盤に必要不可欠な製品として、多くのお客様で当社製品の採用が進みました。また、ソフトウェアとハードウェアをあらかじめ統合して提供する「Oracle Exadata」等のエンジニアド・システム製品群が好調に推移し、これら製品とともに利用されるデータベースやオプションの販売も増加いたしました。さらに、事業活動のグローバル化に対応した経営基盤の構築を目指すお客様向けに、財務会計等のERP製品群、人材管理ソリューションのHCM製品群等が堅調でした。

クラウド・ソフトウェア・サブスクリプションでは、製品・サービスの購入や利用過程において顧客が経験する価値である「カスタマー・エクスペリエンス」の向上を実現し、顧客満足度を高めるカスタマー・エクスペリエンス製品群や医薬品業界向けの製品群が好調に推移いたしました。

[アップデート&プロダクト・サポート]

売上高は50,680百万円（前年同期比4.6%増）となりました。

当セグメントは、ライセンスを利用されているお客様に更新版等のアップデートや技術サポートを提供しております。

お客様の導入製品や利用環境に応じたプロアクティブ（事前対処的）かつプリベンティブ（予防的）なサポートを提供する「My Oracle Support」等、サポートの価値訴求の推進を継続して実施すると共に、パートナーとの協業を推進し、新規に販売された製品に対するサポートの装着率や既存サポート契約の更新率の維持向上を目指した施策を進めてまいりました。

[ハードウェア・システムズ]

売上高は16,208百万円（前年同期比7.5%増）となりました。

当セグメントは、サーバー、ストレージ、エンジニアド・システムのハードウェアの販売およびそれらのオペレーティングシステム（OS）や関連ソフトウェアを提供する「ハードウェア・システムズ・プロダクト」、ハードウェア製品の技術サポート、修理、メンテナンスの提供およびOS等関連ソフトウェアの更新版等の提供を行う「ハードウェア・システムズ・サポート」から構成されます。

ハードウェア・システムズ・プロダクトの売上高は8,822百万円（前年同期比9.6%増）となりました。

Oracle Exadata等のエンジニアド・システムの販売が好調に推移いたしました。平成25年2月には磁気テープ記憶装置の最新規格に準拠したテープストレージ製品「StorageTek LT0 6 Tape Drive」、平成24年11月には「Oracle Exalogic Elastic Cloud X3-2」、10月には、データベースマシン「Oracle Exadata」の最新版「Oracle Exadata X3-2 Database In-Memory Machine」、8月には「StorageTek SL150 ModularTape Library」、6月には「Sun ZFS Backup Appliance」の提供を開始いたしました。

また、販売パートナー様との協業も積極的に推進し、Oracle Exadataの一次保守サービスおよびSI支援サービスが、本年9月に富士通株式会社様より、同8月に日本電気株式会社様より提供開始されました。

ハードウェア・システムズ・サポートの売上高は7,385百万円（前年同期比5.2%増）となりました。ハードウェア製品に対するサポート装着率の向上や既存のお客様からの更新契約の確保により、堅調に推移いたしました。また、Oracle Database Applianceの包括的保守サービスが、平成24年11月に伊藤忠テクノソリューションズ株式会社様より提供開始されました。

[サービス]

売上高は12,084百万円（前年同期比12.0%増）となりました。

当セグメントは、予防保守サービスやマネージドクラウド型サービス等の高付加価値サービスを提供する「マネージド・クラウドサービス（旧クラウドサービス）」、技術者や利用者向けの研修事業や技術資格の認定事業を提供する「エデュケーションサービス」、当社製品の導入支援を行う「コンサルティングサービス」から構成されております。

マネージド・クラウドサービスでは、予防保守サービス「アドバンスト・カスタマー・サポート・サービス」がOracle Exadata向けサービスを中心に好調に推移いたしました。また、コンサルティングサービスでは、新規ライセンスを購入されたお客様への導入支援コンサルティングサービスが堅調に推移いたしました。

(注) ソフトウェアをライセンス販売する形態に加え、クラウド・コンピューティング環境でサービス利用型として提供するサブスクリプション形態が徐々に増えていることから、当第3四半期より、セグメント名を従来の「ソフトウェア・ライセンス」から「新規ライセンスおよびクラウド・ソフトウェア・サブスクリプション」に変更し、セグメント内売上内訳の表示を「製品別」に代えて「提供形態別」とすることといたしました。この変更は当セグメントの名称と売上内訳表示の変更であり、報告セグメントの変更はありません。

＜報告セグメント別売上高の状況＞

区分	平成24年5月期 第3四半期		平成25年5月期 第3四半期			平成24年5月期	
	金額	構成比	金額	構成比	対前期比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	%	百万円	%
新規ライセンス	27,471	26.9	29,816	26.9	8.5	41,792	29.2
クラウド・ソフトウェア・サブスクリプション	451	0.4	1,960	1.8	334.6	660	0.5
新規ライセンスおよびクラウド・ソフトウェア・サブスクリプション	27,922	27.3	31,777	28.7	13.8	42,452	29.7
アップデート&プロダクト・サポート	48,438	47.4	50,680	45.8	4.6	64,986	45.5
ソフトウェア関連	76,361	74.7	82,458	74.5	8.0	107,439	75.2
ハードウェア・システムズ・プロダクト	8,050	7.9	8,822	8.0	9.6	11,053	7.7
ハードウェア・システムズ・サポート	7,020	6.9	7,385	6.7	5.2	9,430	6.6
ハードウェア・システムズ	15,071	14.7	16,208	14.6	7.5	20,484	14.3
サービス	10,788	10.6	12,084	10.9	12.0	14,995	10.5
合計	102,221	100.0	110,751	100.0	8.3	142,919	100.0

(注) 金額は単位未満を切り捨て、構成比ならびに対前年同期比は単位未満を四捨五入で表示しております。

参考) 新規ライセンスおよびクラウド・ソフトウェア・サブスクリプション売上の従来区分による表記

区分	平成24年5月期 第3四半期		平成25年5月期 第3四半期			平成24年5月期	
	金額	構成比	金額	構成比	対前期比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	%	百万円	%
データベース&ミドルウェア	24,990	24.4	26,974	24.4	7.9	37,551	26.3
アプリケーションズ	2,931	2.9	4,802	4.3	63.8	4,900	3.4
ソフトウェア・ライセンス	27,922	27.3	31,777	28.7	13.8	42,452	29.7

(2) 業績予想に関する定性的情報

平成24年6月26日に発表いたしました平成25年5月期の業績予想より変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

- ・ 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成24年5月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	44,488	10,362
受取手形及び売掛金	19,306	12,880
有価証券	2,005	—
商品及び製品	0	0
短期貸付金	—	42,200
その他	2,577	2,436
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	68,375	67,875
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	14,215	13,541
土地	26,057	26,057
その他(純額)	1,067	1,052
有形固定資産合計	41,340	40,651
無形固定資産		
	20	9
投資その他の資産		
その他	1,766	1,811
貸倒引当金	△9	△3
投資その他の資産合計	1,757	1,808
固定資産合計	43,117	42,468
資産合計	111,493	110,344
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,470	7,092
未払金	3,384	2,704
未払法人税等	8,904	3,609
前受金	25,795	23,874
賞与引当金	1,825	1,082
その他の引当金	182	246
その他	1,401	1,633
流動負債合計	50,963	40,243
固定負債		
その他	91	91
固定負債合計	91	91
負債合計	51,054	40,334
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,301	22,301
資本剰余金	5,652	5,652
利益剰余金	31,595	41,125
自己株式	△23	△24
株主資本合計	59,526	69,054
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△22	△10
評価・換算差額等合計	△22	△10
新株予約権	934	967
純資産合計	60,438	70,010
負債純資産合計	111,493	110,344

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年6月1日 至平成24年2月29日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年6月1日 至平成25年2月28日)
売上高	102,221	110,751
売上原価	51,404	56,685
売上総利益	50,816	54,065
販売費及び一般管理費	22,399	23,205
営業利益	28,417	30,860
営業外収益		
受取利息	32	39
有価証券利息	2	0
その他	49	77
営業外収益合計	84	117
営業外費用		
その他	42	8
営業外費用合計	42	8
経常利益	28,459	30,969
特別利益		
新株予約権戻入益	29	76
投資有価証券売却益	6	—
特別利益合計	36	76
特別損失		
事業構造改善費用	—	181
特別損失合計	—	181
税引前四半期純利益	28,495	30,864
法人税等	11,862	11,803
四半期純利益	16,632	19,061

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 平成23年6月1日 至 平成24年2月29日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上 額 (注) 2
	新規ライ センスおよび クラウド・ ソフトウェ ア・サブス クリプショ ン	アップデー ト&プロダ クト・サポ ート	ハードウ ェア・シ ステムズ	サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	27,922	48,438	15,071	10,788	102,221	—	102,221
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	27,922	48,438	15,071	10,788	102,221	—	102,221
セグメント利益	3,659	25,583	807	1,913	31,964	△3,546	28,417

(注) 1. セグメント利益の調整額△3,546百万円は、全社費用であります。主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期累計期間(自 平成24年6月1日 至 平成25年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上 額 (注) 2
	新規ライ センスおよび クラウド・ ソフトウェ ア・サブス クリプショ ン	アップデー ト&プロダ クト・サポ ート	ハードウ ェア・シ ステムズ	サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	31,777	50,680	16,208	12,084	110,751	—	110,751
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	31,777	50,680	16,208	12,084	110,751	—	110,751
セグメント利益	4,320	26,706	844	2,545	34,417	△3,557	30,860

(注) 1. セグメント利益の調整額△3,557百万円は、全社費用であります。主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 当会計期間より、従来の「ソフトウェア・ライセンス」を「新規ライセンスおよびクラウド・ソフトウェア・サブスクリプション」に名称変更いたしました。なお、前会計期間のセグメント情報は、変更後の名称を用いております。当該変更については、名称変更のみであり、報告セグメントの変更はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 追加情報

当第3四半期会計期間において、オラクル・コーポレーション（当社の親会社）の子会社である Oracle America, Inc. に対し、短期貸付（42,200百万円）を行っております。